

【目次】

- 【1】 関西支部工場見学会実施報告
- 【2】 第 57 回全国大会のお知らせ
- 【3】 支部メンバーコラム (大阪経済法科大学 経営学部 岡村 俊一郎先生)
- 【4】 各研究会(全国・支部)の活動
- 【5】 他支部、他学会、その他関連講演・講習会等の案内
- 【6】 その他お知らせ・ご連絡

♪==♪==♪==♪==♪==♪==♪

日本生産管理学会関西支部・メルマガ受信希望者各位

大阪学院大学の葛西です。

12 月も下旬となり、一気に寒さが増してきました。気が付いたらもう今年も終わりを迎えようとしています。コロナ禍 3 回目の年末年始。街中のイルミネーションやディスプレイに以前のような活気を感じる一方、未だマスクを手放せない状況に、ソーシャルディスタンスや個食に見られる個別対応=カスタマイゼーションへの対応が、必須の状況になってきていると感じます。

先日、あるオーダーメイドのパターン・メイド・シャツ生産工場に見学をさせていただく機会を得ました。色・柄・デザイン・サイズ、一点一点異なるものでありながら、生産はすべて各部品・各単工程を受け持つ従業員が、規定通りにミシンをかけていくだけで、オーダー通りの製品ができる仕組みを構築していました。日々数百枚のオーダーを間違いなく作る。従業員は個々のオーダーの内容を意識せずとも、淡々と自工程の作業をこなすことで実現しています。マニュアル化と標準化の賜物です。しかし同時にこの会社では、徹底した品質管理の下、どんな小さな汚れやほつれも見逃さず、完璧な製品のみを提供しています。デフレで安価なシャツが市場を席卷する中、わざわざオーダーシャツを注文してくださったお客様に感謝し、完全に満足していただくことを追求するその姿勢に、従業員一人一人の職人気質を感じました。この姿勢こそが、これからのものづくりに不可欠なのではないか、そんな思いで帰路に着きました。

年末年始は過去を振り返り、未来に思いを馳せる機会でもあります。お身体には十分お気を付けいただき、充実した時間をお過ごしください。

※本来ですと年内に支部総会を持たなければなりません、諸事情で年明けになります。詳細決定後、別途ご案内させていただきます。日程が遅れましたことお詫び申し上げます。

---

発行：日本生産管理学会関西支部

連絡先：葛西恵里子(ekasai@hi-ho.ne.jp)

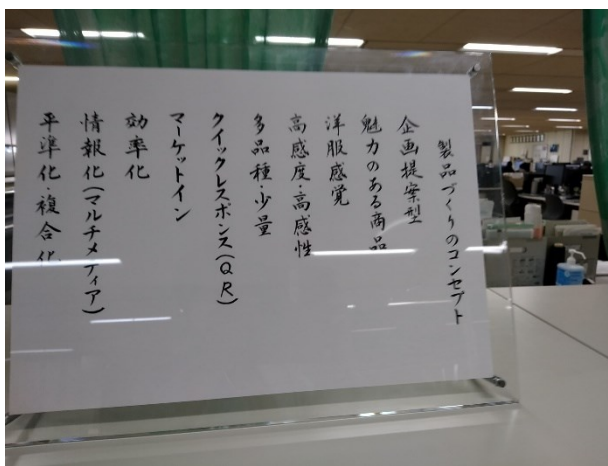
---

【1】**関西支部工場見学会実施報告**

去る 10 月 31 日、日本生産管理学会関西支部主催で和歌山にある島精機様の工場見学会を実施いたしました。当日は関西支部のみではなく、関東・中部・中四国支部からもご参加いただき、総勢 16 名と多くの方に学びの場を提供することができました。

当社は日本を代表する横編機メーカーですが、アパレルのみならず、車載等各方面に先進的な技術を提供しています。アパレル業界では、大量生産・大量廃棄が今大きな問題になっていますが、当社では VR をはじめとする技術で、実際の製品を生産する前に、実物に近い様々なシミュレーションを施し、サンプル提案の自在化と決定したサンプルの短納期化を実現。サステナブル経営に貢献できる仕組みを提供しています。また、MIT と共同開発中の呼吸する繊維など、世界の最先端を行く技術開発にも力を入れています。

工場では、裁断機のデモンストレーションを見せていただきました。自動車部品に使用する精密な精度と美し



い切り口を保ったレーザー加工では、技術力の高さが感じられました。徹底した少人化が進んだ工場も、さすがと思った点でした。

個人的に面白いと思ったものは、島精機の会長島正博氏が示したという製品開発のコンセプト。1960年代の会社設立当初からすでに掲げられたそのコンセプトは、今でも全く色あせない、ものづくりの基本を簡潔に言い表しており、そのようなシンプルだが本質をついたことを徹底するところに、当社の強みがあったのではと感じました。



## 【1】第57回全国大会のお知らせ

第57回全国大会の全国大会は、九州支部西南学院大学が主催校となり、2023年3月3日(金)～3月5日(日)に開催されます。

### ■統一論題：「VUCA時代のオペレーションズ・マネジメント」

少子高齢化が進み、日本の生産年齢人口は1995年にピークを迎え、総人口も2008年にピークに人口減少時代に入り、近年、産業の種類を問わず人手不足が顕在化してきています。また、新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延によるサプライチェーンの分断は、2年以上経過しても改善の兆しがまだ見えません。さらに、ロシアによるウクライナ侵攻で、エネルギー価格が急騰し、経営コスト増の要因となりつつあります。このようにビジネスを取り巻く環境が激変するVUCA(ブーカ)時代に対応できるオペレーションズ・マネジメントが、今、求められていると考え、「VUCA時代のオペレーションズ・マネジメント」を統一論題と致しました。

AR/VR、AI、IoT、DXなど、新しい技術や概念も次々と現れる、この変化の激しい時代に相応しいオペレーションズ・マネジメントの姿を、8年ぶりとなる九州福岡の地で皆様と議論するとともに、3年ぶりの対面開催完全復活の機会としたいと思います。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、対面参加者の地域を限定させて頂いたり、オンライン開催のみとさせて頂くなど、柔軟に対応させて頂きますので、予めご了承ください。

### ■日時：2023年3月3日(金)～3月5日(日)

2023年3月3日(金)：論文誌編集委員会(英文和文)・理事会(オンライン開催)

2023年3月4日(土)：事業中間報告会

基調講演・特別講演

情報交換会

2023年3月5日(日)：研究発表／研究会報告

■開催場所・方法:西南学院大学 (完全対面実施)

(住 所) 〒814-8511 福岡市早良区西新 6-2-92

(電 話) 092-823 - 3201

(アクセス) 福岡交通局地下鉄福岡空港線西新駅から 徒歩 5 分

■ 申込スケジュール :

- 研究発表申込受付(Web) 2022 年 12 月 5 日(月) ~ 2023 年 1 月 24 日(火) 締切
- 予稿論文原稿受付(Web) 2022 年 12 月 5 日(月) ~ 2023 年 1 月 31 日(火) 締切
- 大会参加申込(Web) 2022 年 12 月 5 日(月) ~ 2023 年 2 月 13 日(月) 締切
- 参加費等支払い 2022 年 12 月 5 日(月) ~ 2023 年 2 月 20 日(月) 支払期限

みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

**【3】支部メンバーコラム (大阪経済法科大学 経営学部 岡村 俊一郎先生)**

毎回支部メンバーから、研究や近況、日頃の関心についてなどを、コラムとして紹介しております。

第 7 回目となります今回は、大阪経済法科大学 経営学部 岡村 俊一郎先生から寄稿いただきました。

教員・学生間のジェネレーションギャップ

大阪経済法科大学 経営学部

岡村 俊一郎

現在、勤務している大学は、私が教員になって初めて在籍することになった大学ですが、そこで演習などを担当することになり、世代間のギャップ、つまり「ジェネレーションギャップ」というものを感じ、そして、その影響が教育の場に大きく横たわっていることを感じます。おそらく、かつての大学教育でもこれは存在したのかと思われるのですが、実際に教育の現場に立つとそれを身に沁みて実感します。今回、その体験とそれに対して思ったことを綴ってみようと思います。

私は、現在、43 歳になります。生まれた年は昭和 54 年です。学生達は、18~22 歳であるので、昭和生まれというのは、自分の両親や祖父母になります。その人たちから教

2世代

えを受ける訳ですが、社会科学の世界で困るのは、「実感がない」ことです。まず、阪神・淡路大震災は生まれる前です。東日本大震災も伝聞でしか知りません。ですので、アメリカの 9・11 と聞いてもピンとこない。このような自然・社会現象も知らない訳ですから、エンロン・ワールドコムショックやリーマンショック、サブプライムローンなどの経済現象についても知らないわけです。

これの何が苦勞するかというと、まず、大震災について実感がないですので、ハザードマップや防災グッズなどを「何故」買っておかないといけないかを知らない。

そして、「何故」、日本の大学の講義(多くの日本の学者が書いた教科書で)でアメリカの経済の金融化が批判されるかが分からない。

例えば、我々世代の多くの日本の経営学者は、成果主義・職能給を導入することを嫌がります。しかしながら、今の 20 代前後の学生は、その批判する理由が分からないのです。なぜなら、先ほど述べたように、2000~2010 年代に起きた経済現象を知らない、もっといえば実感していないからです。私たち世代が、共有の認識として持っていた「強欲なアメリカの資本主義とその破綻」という現象を知らず、そして、彼らが知っているのは、アメリカの金融政策や経済政策に振り回され活力を失い続けている日本経済の姿です。そのような彼らに対し、「日本企業のやり方は良いものだ」、「今は手取りの給料は低いかもしれないが将来は安定する」と言っても、彼らは、

日本企業が好調な姿、あるいは、将来的にも安定している姿を生まれてから見たことがないのです。

ただ、ある意味、そのような彼らは、我々のように1980年代やバブル景気のような「過去の栄光や亡霊」にとられることなく日本経済を冷静に見つめているのかもしれませんが。私も着任して当初は、就職活動をしている学生に対して年功序列制などの利点を強調していましたが、ある時、学生から「そんなことよりも働いたら働いた分だけの給料が欲しい。安い給料を我慢してて、その会社がつぶれたら意味ないですよ。」と言われ、気付かされました。

このように我々と学生の間には大きなジェネレーションギャップがあり、それはよく学生のものの知らなさを揶揄する際に用いられますが、彼らの意識や認識は、彼らが生きてきた期間の実感をベースにしています。そのように考えると、彼らの意識や発言を単に「今の若い奴は…」で片づける訳にはいかないのではないのでしょうか。大学生の我々とは意識が違う発言に対しても、少し足を止めて考えてみる必要があるかもしれません。



(Z世代の講義風景(写真は本文と直接関係ありません))

文: 大阪経済法科大学 経営学部 准教授  
岡村 俊一郎<s-okamura@keiho-u.ac.jp>

#### **【4】生産管理学会関西支部各研究会(全国・支部)の活動**

関心のある研究会がございましたら、直接各「連絡先」までご連絡ください。

##### <1>生産性向上研究会(旧食品産業研究会を発展的に継承)

- ・ 次回予定: 1/14(土) 14:00~17:00,  
場所: 対面実施もしくはWeb開催
- 次々回予定: 1/21(土), 14:00~17:00 (臨時で詰めた開催を行います)
- 場所: Web開催もしくは対面実施
- ・ 連絡先: 林 芳樹 (kyo884@khaki.plala.or.jp)

##### <2>SDGsのビジネス戦略研究会

- ・ 次回予定: 日程未定(2月ごろ検討中)
- 場所: オンラインのみ・またはオンラインと対面併用(場所は対面希望者により決定)
- ・ 連絡先: 入江安孝(yirie@iriesys.jp)

##### <3>新資本主義研究会 (SDGsのビジネス戦略研究会と同時開催)

- ・ 次回予定: 日程未定(2月ごろ検討中)
- 場所: オンラインのみ・またはオンラインと対面併用(場所は対面希望者により決定)

- ・連絡先:入江安孝(yirie@iriesys.jp)

<4> 関西生産管理資格制度研究会

- ・次回予定: 2023年1月29日(日)10:00-11:30 オンライン会議(Zoom)
- ・連絡先: 柏原秀明(kasihara@inbox.kyoto-inet.or.jp)

<5> ブロックチェーン研究会

- ・次回予定: 未定(12月ごろを予定)
- ・連絡先: 森山真光([moriyama@info.kindai.ac.jp](mailto:moriyama@info.kindai.ac.jp))

<5> 学校給食における生産性向上

- ・次回予定: 未定
- ・連絡先: 葛西恵里子([ekasai@hi-ho.ne.jp](mailto:ekasai@hi-ho.ne.jp))

## 【5】他支部、他学会、その他関連講演・講習会等の案内

### <1>【日本経営システム学会】ニューノーマル研究部会

大阪大学の三森先生より、研究会のご案内を2回分頂きました。興味をお持ちの方は、奮ってご参加ください。直近もございますので、お見落としなく!

=====

【ご案内】ニューノーマル研究部会 2022年度第9回会合(通算第15回)(知的財産権分科会)の開催について

=====

■日時:2022年12月24日(土曜日)14時~15時30分

■開催方法:Zoomを用いて開催

■講演タイトル:「メタバースと知的財産を巡る問題(商標・ブランドを中心に)」

■講師:後藤未来様, アンダーソン・毛利・友常法律事務所(弁護士・ニューヨーク州弁護士)

■講演内容:近時、メタバース・デジタル空間への社会的関心が急速な高まりを見せ、ブロックチェーンを活用したweb3時代の到来とともに、そこで生まれる様々なビジネスの可能性が世界的に注目を集めています。このようなメタバース・デジタル空間を巡っては、従来には見られなかった様々な知的財産に関わる問題が生じます。本講演では、米国での最近の訴訟事件(MetaBirkins事件)を題材にしつつ、メタバースと商標・ブランドを巡る法的問題を中心に概説します。

■講師略歴:アンダーソン・毛利・友常法律事務所パートナー、弁護士・ニューヨーク州弁護士。理学・工学のバックグラウンドを有し、知的財産や各種テクノロジー(IT、データ、エレクトロニクス、ヘルスケア等)、ゲーム等のエンタテインメントに関わる案件を幅広く取り扱っている。ALB Asia Super 50 TMT Lawyers(2021、2022)、Chambers Global(IP分野)ほか選出多数。AIPPIトレードシークレット常設委員会副議長、日本ライセンス協会理事。<https://www.amt-law.com/professionals/profile/MIG>

■参加方法:以下のURLから出席可否の登録をお願いします。

<https://forms.gle/xfKD47TjzSJ4iNbE7>

参加登録者には後ほどZOOM招待状をお送りします。

※ご不明な点がございましたらご連絡ください。

三森八重子・大阪大学招聘教授 [dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp](mailto:dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp)

=====  
【ニューノーマル研究部会 2022 年度第 10 回会合(通算第 16 回)(AI-DX 分科会)の開催について】  
=====

■日時:2023 年 1 月 21 日(土曜日)14 時~15 時 30 分

■開催方法:Zoom を用いて開催

■講演タイトル:「東京大学メタバース工学部の取り組みについて」

■講師:石原 直・東京大学名誉教授・メタバース工学部事務局長

■講演内容:本講演では東京大学「メタバース工学部」の取り組みを紹介します。

近年、東京大学工学系研究科は重点施策として社会連携の強化を取り上げてきました。ここに来て産業界(企業 60 社)や教育現場(高校 20 校)との交流を通して、「DX 人材の大幅な不足」や「ダイバーシティ&インクルージョン推進」を重要課題と認識し、メタバース工学部を構想するに至りました。メタバース工学部は、(1)中高生・保護者を主な対象とするジュニア工学教育プログラム(略称:ジュニア講座)、(2)社会人・学生を主な対象とするリスキリング工学教育プログラム(略称:リスキリング講座)、および(3)中高生・工学部生を主な対象とする工学キャリア総合情報サイトの構築・運用という3つの教育活動から構成されます。本講演では、本構想に基づいて構築し始動した「東京大学メタバース工学部」の内容と現在の活動状況について受講者等の反響も含めて報告します。

■講師略歴:1973 年 3 月東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻修了、同年 4 月日本電信電話公社(現 NTT)電気通信研究所入社。1975 年より半導体リソグラフ技術の研究に従事、主任/主幹研究員、加工技術部長など。1995 年より NTT 技術企画部長、電気通信技術・政策を担当。1999 年より NTT 物性科学基礎研究所長、ナノサイエンス、量子技術の研究を推進。2005 年より東京大学教授、工学系研究科機械工学専攻・ナノメカニクス研究室。2013 年より東京大学名誉教授、工学系研究科の運営支援を担当。

■参加方法:以下の URL から出席可否の登録をお願いします。

<https://forms.gle/zqwGcKAE4BjgwH7A6>

参加登録者には後ほど ZOOM 招待状をお送りします。

※ご不明な点がございましたらご連絡ください。

三森八重子・大阪大学招聘教授 [dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp](mailto:dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp)

### 【3】その他お知らせ・ご連絡

#### ・次回メルマガ情報提供のお願い

本メルマガは、関連の皆様の情報で作り上げていきます。  
以下の情報をお持ちでしたら、末尾「連絡先」までご一報ください。  
なお、次回発行は 2023 年 2/上~中旬を予定しています。  
2023 年 1/末を目途に連絡をいただけると幸いです。

- ◎署名記事を募集します。ぜひ日頃皆さまがお考えのことをご披露いただき、議論の場にしていければと思っております。
- ◎他学会・他支部、その他関連講演会、書籍出版等、の情報があればお知らせください。

#### ・読者募集・拡散のお願い

本メルマガは、支部内外・学会内外に関わらず、拡散歓迎です。  
生産管理に興味をお持ちの方に広く知っていただけますと幸



甚です。継続して受信希望のある方は、直接送付いたしますので、末尾「連絡先」までご一報ください。

また、Facebook の [フォロー/いいね!](#) もぜひお願いいたします。  
Facebook 一般社団法人日本生産管理学会関西支部 のページ  
<https://www.facebook.com/jspmkansaihibu/>

本日の内容は以上です。

今年一年、大変お世話になりました。よい年末年始をお過ごしください。

---

発行: 日本生産管理学会関西支部

連絡先: 葛西恵里子 (ekasai@hi-ho.ne.jp)

---

\*このメールは日本生産管理学会関西支部会員および学会内外の希望された方へ配信しています。

また、このメールリングリストに登録の各位のアドレスは、生産管理学会のリストと同期できません。  
アドレス変更をされる場合は、上記連絡先までご一報ください。